

平成23年5月25日

安成弘氏記念事業の実施

財団法人 医用原子力技術研究振興財団

平成21年5月16日逝去した故 安成弘氏より贈与のあった寄附金については、医用原子力技術の研究活動推進のための諸活動に役立ててほしいとの意向に沿い、当該寄附金(金額:1,000,000円)を財源とする二つの事業を、「安成弘氏記念事業」として下記のとおり実施する。

記

〈安成弘氏記念事業〉

1. 安成弘氏記念賞の表彰・授与

(1) 趣旨

当財団創立時より実施している主要事業である研究助成事業は、高度先端技術である医用原子力技術に関する研究の推進を図り、その研究ならびに若手研究者を支援することを目的としており、毎年、テーマに応じ研究助成対象者を5件選考・決定している。安成弘氏は、当財団常務理事として、この研究助成事業の運営、発展に精力的に尽力したことから、この研究助成内容を充実させるため、助成実施の翌年度に、最も優れた研究成果のあったものを1件選定し、「安成弘氏記念賞」として表彰・授与する。

(2) 内容

平成24年度(23年度助成実施者対象)より5年間の予定で、毎年、受賞者1名に対し、安成弘氏記念賞(賞金10万円ならびに記念品)を贈呈する。

(3) 決定・授与方法

研究助成選考委員会および理事会において決定し、「研究助成対象者贈呈式」の際に、「安成弘氏記念賞」として表彰・授与する。

2. ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)小冊子の作成・頒布

(1) 趣旨

安成弘氏は、わが国のホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の研究開発に深く関わり、技術の発展に多大な貢献があったことから、その優れた治療法をより多くの国民に周知するため、ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)に関する小冊子を作成し、広く頒布する。

(2) 内容

小冊子は、B5版20～25ページで、患者および一般の人を対象に、概要、対象疾患、受診方法、治療費用、窓口施設等についてわかりやすく解説したものとし、部数は、5,000部程度とする。

(3) 監修・発行

中性子捕捉療法推進特別委員会の監修のもと、平成23年5月に発行する。

以上